

学術情報のオープンアクセス推進活動

目的・趣旨 |

京都大学は、平成 27 年 4 月 28 日に「京都大学オープンアクセス方針」を、大学の方針として決定しました。これは、本学研究者が執筆した学術論文を「京都大学学術情報リポジトリ (KURENAI)」へ登録することを定めたもので、登録された論文はインターネット上で世界中の誰もが自由に読むことができます。

学術情報のオープン化は、これまで機関リポジトリ構築機関の拡大や学位論文の電子的な公表の義務付け等により全国的に広がっており、論文の自由な利用による研究活動の活性化や、大学の活動の説明責任を果たすことに寄与しています。

京都大学では、学術情報のオープン化を一層推進するため、大学としての方針を定めましたが、総合大学としてその公開を原則化することは、国内では先駆的なものです。そして、開かれた大学としての姿勢を示すとともに国内外の研究活動の活性化にも積極的に貢献しようとするものです。

実施内容 |

「京都大学オープンアクセス方針」に基づく運用のため、次のことを行いました。

①登録システムの開発

研究者がなるべく簡単に「KURENAI」へ論文を登録することができるよう開発したもので、平成 28 年 3 月 24 日から試行運用を開始しました。

このシステムには、researchmap やその他の外部データベースと連携し、論文データを取り込んでいます。そして、図書館が論文の著作権を確認し、出版社版が登録できる場合は図書

館で論文本文を入手して登録します。研究者から著者稿を提供してもらう必要がある場合はシステムを通じて論文をアップロードしてもらいます。

システムでは、ログインした研究者それぞれの論文が一覧でき、未登録／共著者処理中／図書館代行中／完了済、と区分してわかりやすく表示されます。

②「実施要領」と「FAQ」の作成

「実施要領」は「方針」をより具体的に解説したものです。「FAQ」は、論文の登録に関すること等、「方針」全般についての具体的な質問とその答えをまとめたものです。



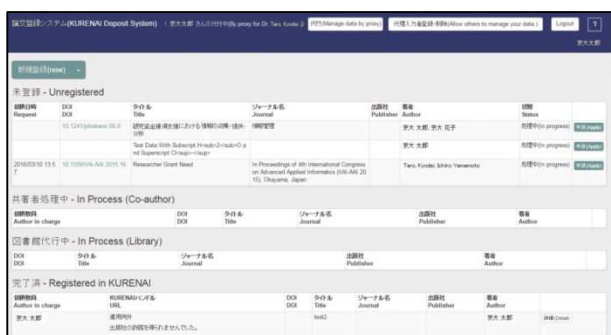
「京都大学オープンアクセス方針」採択のお知らせ
(京都大学図書館機構ウェブサイト)

実施成果 |

「京都大学オープンアクセス方針」を策定し、「実施要領」を作成したことで、出版社版が登録できる場合は、図書館で全ての作業を行うことができるようになりました。

平成 27 年度は 1 万件以上の論文を新しく登録し、「KURENAI」で公開する論文数は 141,686 件（平成 28 年 3 月末現在）になりました。ダウンロードは年間およそ 400 万件で、非常によく利用されています。平成 28 年 1 月版の世界リポジトリ・ランキング（スペイン高等科学研究所作成）では、「KURENAI」が国内第 1 位になっています。

また、登録システムの開発で、メールで行っていた研究者への依頼やデータのやり取りがシステムを通じてできるようになりました。



DOI	Title	ジャーナル名	出版社	著者
10.24550/kurenai.00.00	建設法政大学における情報化の現状と課題	建設法政	京大 法政	佐藤 隆夫
10.24550/kurenai.00.00	Top Data With Subscript Hash-Character's and Superscript Character's	京大 法政	京大 法政	佐藤 隆夫
10.24550/kurenai.00.00	Researcher Grant Head	京大 法政	京大 法政	佐藤 隆夫
10.24550/kurenai.00.00	In Proceedings of 4th International Congress on Advanced Applied Informatics (IAI-AAI 2017), Singapore, Japan	京大 法政	京大 法政	佐藤 隆夫

リポジトリ「KURENAI」登録システム画面

今後の展開・課題 |

オープンアクセスやオープンサイエンスについては、欧米諸国が積極的に取り組んでいますが、京都大学も国内のオープンアクセス活動を牽引すべく、平成 28 年度から 6 年間の重点事業「オープンアクセス推進事業」として、学術論文だけでなく、研究データのオープン化推進も視野に入れた活動を進めようとしています。京都大学附属図書館では、平成 28 年 4 月に組織を再編し、オープンアクセス担当職員を新しく配置する体制整備もしましたので、今後、さらに「KURENAI」で公開する研究成果情報が拡充することになります。

「オープンアクセス推進事業」では、公開する論文数を増やし、インターネット上でよりアクセスしやすくなるようメタデータの英語化を行います。また、オープンデータを視野に入れた新しい活動に取り組むために図書館職員の養成を図り、学生に対しても研究公正を踏まえた研究活動を行うことができるよう学術情報のオープン化や研究成果物の取扱いについての情報リテラシー教育活動を行います。さらに、所蔵する貴重な資料の電子化と公開も計画的に実施する予定です。これらにより、総合大学として学問分野全般の研究を支える学術情報基盤を充実させることとしています。

研究には様々な専門分野がありますが、それぞれ研究成果の公表媒体や方法に特徴があり、またデータそのものも違います。そのため論文や研究データの取扱いも、研究者とのコミュニケーションを大事にしながら、その特性に応じて対応することが今後の課題です。

参考文献・URL |

- ・ 京都大学学術情報リポジトリ : KURENAI
<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/>
- ・ 京都大学オープンアクセス方針
<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/upload/s/oapolicy.pdf>

連絡先 |

京都大学附属図書館学術支援課学術支援掛
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL: 075-753-2618